

臨床研究へのご協力をお願い

患者さんへ

「全国肺癌登録調査：2010年肺癌手術症例に対する登録研究」（多施設共同後ろ向き研究）  
のお知らせ

## 1. はじめに

このたび、肺癌登録合同委員会が行う多施設共同、後ろ向き（過去のデータを用いる）、  
包括的、観察研究の内容について御連絡申し上げます。国内で呼吸器外科を専門に行う多  
くの施設の共同研究であり、防衛医大病院はこの1施設として参加いたします。

### 2. 1 背景と目的

原発性肺癌の悪性度は高く、本邦における死因の第1位であり、日本国民の健康福祉の  
向上のために治療成績の向上が求められます。原発性肺癌の治療には、外科治療、抗癌化  
学療法、放射線療法がありますが、根治のためには外科治療が必須です。外科治療の成績  
向上のためには、大規模なデータベースによる治療成績の把握により、外科治療の適応、  
適切な術式の決定が行われる必要があります。

肺癌登録合同委員会は、日本肺癌学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器外科学会、日本呼吸  
器内視鏡学会の4学会が合同で運営され、1998年以来これまでに5回の症例登録事業を行い、  
学会および学術論文として報告し、肺癌治療の成績向上に貢献してきました。また、当事  
業の症例データベースは世界肺癌学会のデータベースにも供与され、国際対癌連合（Union  
internationale contre le cancerあるいは The Union for International Cancer Control、  
略してUICC）による TNM分類の改定にも大いに貢献しています。

本研究の目的は2010年の原発性肺癌外科治療症例の後ろ向き登録により治療成績を把握  
することです。治療成績を把握し、さらにその知見をもとに今後の治療成績の向上に役立  
てる臨床研究を行い、国内外に発信すると同時に世界の肺癌治療の成績向上へ貢献してい  
きます。

### 2. 2 方法

後ろ向き解析を行います。すなわち、すでに手術治療が行われた方について、病歴(カルテ)、  
CT, MRI, PET などの画像所見や、臨床検査データを参照し、解析いたします。

### 2. 3 対象

2010年1月1日から2010年12月31日までの間に**原発性肺癌に対する治療目的で行った手  
術**を受けた方を対象といたします。

## 2・4 研究参加者の実体験

本研究は、過去に行われた検査およびカルテ記録をもとに行われる後ろ向き解析（過去のデータを用いる解析）であり、対象となった方が本研究のために新たな検査や治療を受けることはありません。

## 3. 研究が行われる機関または実施場所

防衛医大病院で手術が行われた方のデータについては、当院呼吸器外科で集積されます。集められたデータについては、個人が特定できないようにして、肺癌登録委員会事務局に送付いたします。

## 4. 研究における倫理的配慮について

### 人権への配慮（プライバシーの保護）

研究実施に関係した原資料類および同意書等を取扱う際は、研究参加者の秘密保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書、学会発表、学術論文においては、研究参加者を特定できる情報を含めません。もしもこのホームページで公開した本研究内容をご覧になり、研究対象となることに同意されないと連絡された方は研究対象には含めませんので、御連絡ください。御連絡を頂かなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

本研究に参加されなくてもあなたが不利益を被ることはありません。また、本研究に参加されても、報酬は支払われません。研究に必要な資金は、防衛医大外科学講座の研究費より拠出されます。

このような臨床研究に対してさらに説明を希望される方、また個人の臨床データの収集および臨床研究への利用を拒否される方は研究責任者の尾関 雄一（防衛医大 呼吸器外科診療科長）、研究分担者の（防衛医大呼吸器外科）橋本 博史までお申し出ください。

連 絡 先

橋本 博史

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2 防衛医科大学校外科 呼吸器外科

電話 04-2995-1511 内線 2360